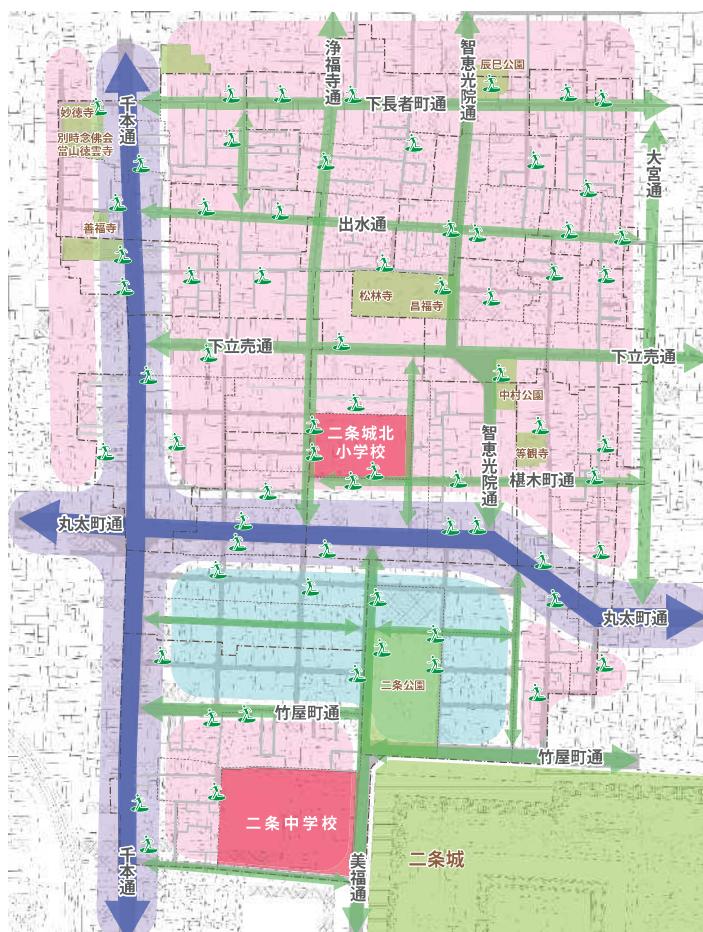


防災まちづくり計画 基本方針図

出水学区には、幅員の狭い路地や袋地に、京町家を含む古い木造住宅が密集するという地域特性があります。学区の防災上重要な道については、幅員4m未満の狭隘な区間があります。こうした状況から、ひとたび大地震や大規模火災が発生した際には、建物の倒壊で避難経路が失われたり、火災が広範囲に拡大するなど、大きな被害が予想されます。このような学区の防災上の課題を克服するため、道路と地区を特徴ごとに分類し、防災まちづくりの基本方針図を作成しました。



地区の特性と基本方針

沿道の建築物の耐震化・防火改修を促進



広域防災道路 (11m以上道路)

京都市全体の広域的な視点から、災害時の救援活動や物資輸送を支える道路です。千本通、丸太町通沿道の大規模な建物の、耐震化・防火改修を進めます。



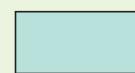
学区の防災上重要な道路 (4m以上を目標)

町内集合場所から学校までの避難経路にあたるなど、学区の防災上重要な道路です。沿道建物の耐震化・防火改修を進めます。また4.0m未満の箇所は、建替えに合わせてたセットバックや道路状の整備を行います。

地区の特性



町並みを残しつつ細街路対策に重点的に取組むエリア
路地や袋路が多いため、京町家の町並みを残しつつ、2方向避難の確保や、建物の耐震化の促進、路地の適正管理を進めます。

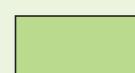


建築物の耐震化に重点的に取組むエリア

道路の整備状況はよいので、住まいや事務所、店舗など、それぞれの建物の耐震性や防火性を高めます。



幹線道路沿道の建築物の耐震・延焼防止に取組むエリア
広域防災道路である千本通、丸太町通沿道の大規模な建物の、耐震化・防火改修を進め、災害時の通行確保、延焼防止を図ります。



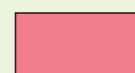
オープンスペース(公園、社寺、公的施設など)

公園、社寺、公的施設など、災害時の活動に有効に使える可能性がある空間です。所有者・管理者と連携し、有効な活用を図りましょう。



町内集合場所

各町内集合場所です。災害時に集合場所ですべきことも、位置と同時に事前に確認しておきましょう。



避難所

災害時の一時的な避難生活を送る場所として、指定されています。
※二条中学校は一時集合場所であり、災害時には二条城北小学校と連絡の上、必要に応じて避難所を開設します。